

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進課 題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント (有識者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制度 面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
【人材育成・理解等】											
C	C	アジア等における高度産業 人材育成拠点支援事業	文部科学省	1,000			<p>第2回日中韓サミット(平成21年10月10日)において、三国の大学間交流の促進が合意されたことを踏まえ、アジア地域等からの外国人学生を受け入れ、産業界と連携して、アジアで急速な成長が期待される先端技術分野等で実践的な教育を提供する取組を重点的に支援する(分野例: エネルギー、環境、災害救援、感染症対策、IT、バイオ、ナノテク等)。</p> <p>アジア諸国との信頼・協力関係を強化するため、大学間交流を促進し、アジア等の成長の担い手となる高度かつ実践的な人材育成を図るとともに、我が国の先端技術分野における技術者の質的・量的不足を解消することが必要。このため、高度産業人材の育成拠点を形成し、アジア等の持続的成長に貢献するとともに、優秀な修了者の雇用により我が国経済の国際競争力の強化を図る必要がある。</p> <p>○1課題あたりの金額:100百万円○採択予定課題数:10程度</p>	<p>○分野の選定は誰が行うのか、募集の方式、現地に行つて選考、日本語教育にも革新的制度とする必要。再度設計をやり直すべし。(本庶佑議員)</p> <p>○事業のデザインにもっと工夫がいる。今のままだと、ごく少数のスタッフにまします負担がいくだけになる懸念あり。(白石隆議員)</p>	<p>○欧米の大学が優秀な人材確保の為に拠点形成で先行しつつある中で、我が国に優秀な人材ひきつけるために早急に手を打つべき課題である。優秀な学生を集める具体的な施策、日本語教育、ダブルデグリーなど大学側が努力すべき内容を明確にしつつ、制度設計を詰めていくことを望みたい。</p> <p>○我が国の産業のアジアへの技術移転を考えたとき、各国の知的レベルを育成していくことは重要な施策である。</p> <p>○制度設計をもう少し練っていく必要あり。</p> <p>○制度設計に下記等の不十分などところがあるので、先行事例を調査して実施すること。①入試試験、授業を日本語AND/OR英語で実施するのか ②学生獲得のサポートについて</p>	<p>○大学の国際化を推進し、アジア等の成長となる高度かつ実践的な人材を育成することは重要であり、プログラムの趣旨は理解できる。</p> <p>○本事業は、世界への貢献や我が国の国際競争力を強化を図る観点から重要な施策であるが、より実効のある事業とするためには、更に詳細な制度設計を行い、計画を見直す必要がある。(本庶佑議員)</p>	<p>原案と同じ。 (本庶佑議員)</p>
B	B	中小企業等の次世代の先端 技術人材の育成・雇用支援 事業	経済産業省	450		地域科学技 術	<p>地域の科学技術力の向上を推進するため、次世代産業の創出を担う地域において、産学官が連携して、次世代産業(低炭素、医療分野等)の担い手となる人材を雇用・育成し、地域の研究開発型企業等への就業を促す取組を支援する。</p> <p>次世代産業創出を目指す地域においては、研究開発人材の確保が最重要課題。このため、大学・公的研究機関・民間企業・自治体等が連携して、次世代産業の担い手となる先端技術人材の育成・雇用を行う取組について、国が支援を実施することが必要。</p> <p>○プロジェクトあたりの金額:30.0百万円(45.0×補助率(2/3)) 採択予定数:15</p>	<p>○事業の意味不明。(本庶佑議員)</p> <p>○重要な事業であり、特に知的クラスター形成という観点からこの事業についても有機的連関に注意してほしい。(白石隆議員)</p>	<p>○クラスター事業や、地域中核拠点を積極的に活用することを明示的にして推進してほしい。</p> <p>○次世代産業分野を取り上げているのは良いが、それを地域で育てていく具体的な指標に欠けている。</p> <p>○必要な事業で実施すべき。</p>	<p>○本事業は、地域の次世代産業分野で必要とされる人材の育成システムを産学官の関係者が参画する拠点として定着させ、必要とされる人材の継続的な供給を可能とし、更に産学官の連携の展開に繋げる等により地域活性化の貢献も目指すものである。</p> <p>○特に、各分野をリードする地域の企業等で活躍できる人材育成、就業支援を推進する本事業については、既存のクラスターや地域拠点を積極的に活用するとともに、本事業の手法がどの程度有効か、十分な評価を行いつつ、効果的・効率的に実施すべきである。(本庶佑議員)</p>	<p>原案と同じ。 (本庶佑議員)</p>
B	B	実践型研究リーダー養成事 業	文部科学省	200			<p>博士人材について、研究開発のリーダーに求められる素養・能力であるリーダーシップ力、チームワーク力、マネジメント力、コミュニケーション力などの実践力を身に付けられるよう、大学と企業が密接に連携して、「課題解決型のチーム演習」を核とした体系化された演習モデルを開発する取組を支援する。</p> <p>知識基盤社会において、産業界におけるイノベーション創出は、学术界との協働がますます重要となりつつある。このため、全体を俯瞰でき、知識を融合してチーム力を最大限に引き出せる研究開発リーダーが求められている。このようなリーダーの養成には、産・学が密接に連携する必要があるが、従来型のインターンシップのように、学生個人が単独で企業の職場体験を行うだけでは十分な経験が得られない。このため、企業の提示する実践的な課題をもとに、大学教員の参画も得つつ、博士課程学生をリーダーとして、チームで取り組む演習を核とした体系化された演習モデルを開発する必要がある。</p> <p>○1課題あたりの金額:24.4百万円・うち間接経費:2百万円○採択予定課題数:8○その他事務経費:5百万円</p>	<p>○お役人が頭で考えた事業。似たものが多すぎる。整理統合。類似施策:次世代など多数(経産省)(本庶佑議員)</p> <p>○事業体制のデザインはもう少し考える必要がある。(白石隆議員)</p>	<p>○必要な施策と思うので、実施形態をよく検討し、大学サイドでの施策とあわせて推進すべきである。</p> <p>○博士課程の学生が企業に行ってもリーダーシップ力がすぐくびくはないと思う。リーダーシップとは何か、それをつけさせるにはどうすれば良いかをもっと議論する必要がある。</p> <p>○経産省の産業人材育成パートナーシップ事業と類似してお住み分けを考えると共に、実際の実施に対する検討を行う必要がある。</p>	<p>○博士人材を我が国のイノベーション創出を牽引する中核人材として養成するため、研究開発のリーダーに求められる素養・能力である「チームワーク力」、「マネジメント力」等の実践力を身に付けるための学習・実習の体系化を図ることは重要である。</p> <p>○本事業は、大学と企業が連携して、事前学習・企業実習・事後学習を体系化し、とくに企業実習においては、大学教員の参画を得て、博士(後期)課程学生が、企業が提示する課題演習にチームで取り組むこととを道し、実社会で活躍できるリーダーを養成するとされており、我が国の産業界におけるイノベーション創出の観点から重要な施策である。</p> <p>○制度設計に当たっては、地域の企業と連携した地域の大学に重点化することを公募の必要条件とすることとし、経産省の「産学人材育成パートナーシップ事業」のメリットを生かしてその実績や成果を継承した上で、効果的・効率的に実施すべきである。(本庶佑議員)</p>	<p>原案と同じ。 (本庶佑議員)</p>